



地球はあと何年でなくなるの

地球の命はあと50億年ぐらい

地球の中心は、鉄やニッケルなどの金属、表面は岩などでできているので、爆発してなくなることはありません。

今から50億年ぐらいあとには、太陽は死んでしまうといわれています。太陽が死ぬときは、ぼう張して今の太陽よりもかなり大きくなり、金星の軌道（動いていく決まった道すじ）と同じぐらいの大きさになります。そのあと、青白い小さな星になると考えられています。

太陽が地球をのみこむ

大きくなった太陽は、地球を焼きこがしてしまうでしょう。地球の命は、あと50億年ぐらいたと考えられています。（監修・国司 真）

